

投資家事業

ありたい姿

脱炭素社会の実現や地域経済の活性化、人生100年時代の到来などの社会課題の解決に資する当社ならではの金融仲介機能を発揮し、こうした課題解決の中で生じる資金需要を投資家に対して価値ある投資機会として提供することで、資金・資産・資本の好循環を生み出すことを目指します。

課題認識

- 停滞する巨額な国内の個人資産・法人の内部留保
- 新社会課題（脱炭素、地域創生など）に対する資金供給
- 人生100年時代に備えた資産形成の必要性
- 環境変化に伴う投資家・運用会社の経営課題の複雑化
- グローバル情勢・金融政策の転換に伴う潮流の変化および先行きの不確実性

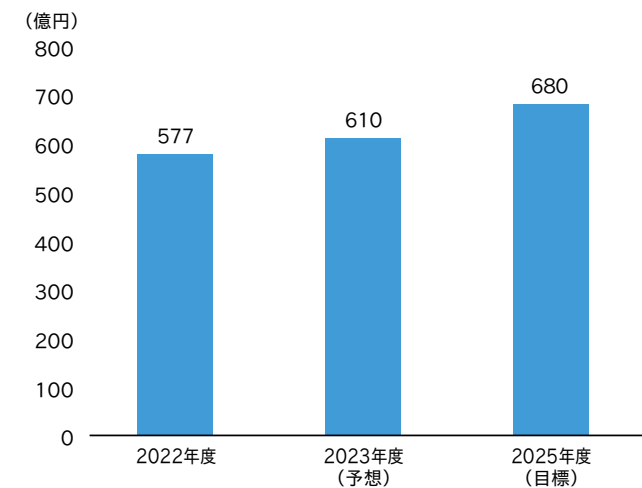
機会・強み

- 投資家起点の“社会課題解決型の金融仲介”による資金好循環の創造
- 本邦最大の企業年金ビジネス基盤と年金ビジネスで培った運用コンサルティング力
- 銀行勘定投資や国内外のネットワークを活用した多様な運用商品に対する目利き力
- 長期にわたり培った資産管理に関する知見・高い業務品質

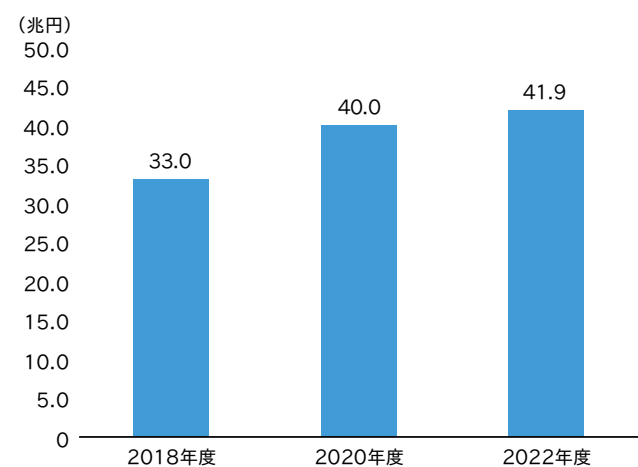
重点施策

- 投資家の経営課題等を起点としたコンサルティングとトータルソリューションの提供
- 新社会課題に係る資金需要と投資家の運用ニーズを同時に解決する、多様な運用機会・運用商品の創出
- 複雑化する運用商品管理に対応する資産管理サービスの高度化・レポートニングなどの付加価値サービス強化

■ 実質業務純益



■ 投資家事業AUM



※ 年金信託・指定単、合同金信等を通じた運用資産残高

具体的な取り組み

(1) 投資家向けトータルソリューションの推進

中長期的な社会経済の構造変化が進むなか、金融法人や非営利法人などのお客さまを取り巻く経営環境は複雑化しています。この新たな環境におけるお客さまの課題解決に向け、資産運用管理を中心とした信託グループならではの多彩なソリューションメニューを提供しています。

お客さまにとって欠かすことのできない頼れるベストパートナーを目指すとともに、社会課題解決に資する好循環の創出に貢献していきます。

(2) 年金ビジネスを起点とした資産形成サポート

人的資本経営へ企業の関心が高まるなか、企業・従業員双方にとって資産形成の在り方を見直す機運が高まっています。

三井住友信託銀行は本邦最大の事業基盤を有する企業年金分野を軸に、持続的な企業価値向上を支える従業員の皆さまに対して、企業経由で投資教育等の資産形成支援を提供してきており、足元では法改正を踏まえた個人型DC (iDeCo) 活用も新たに展開中です。今後も環境変化に沿ったサービスを提供し、人生100年時代における企業・社員双方のパートナーとしてお客さまのWell-Beingに貢献していきます。

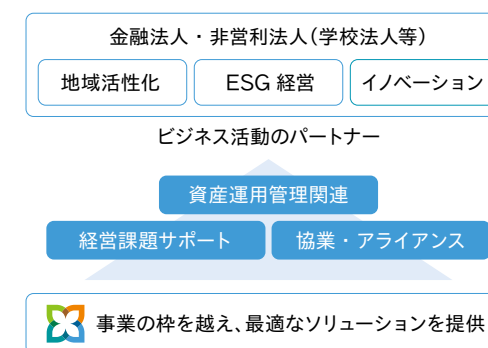
(3) 市場創出に向けたプライベートアセット関連ビジネス

マーケットの不確実性が高まるなかで中期的な投資収益とリスク分散効果などが期待されるプライベートアセットへの関心が高まっています。当社では、長年にわたる自己勘定投資で得た知見を活用し、投資家への投資機会を提供してきました。

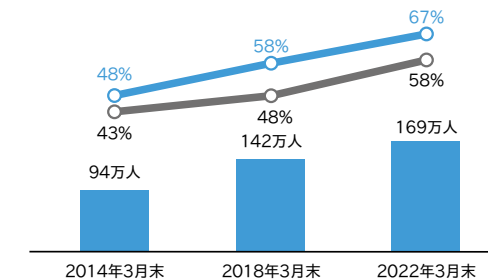
今後本格化が想定される脱炭素などの社会課題解決領域における新たな資金需要に対しても、インハウス機能の活用などにより当社が投資の先導役となることで、投資家が価値ある投資機会を得られるような投資の民主化を実現していきます。

(4) 投資家の資産運用を支える資産管理ビジネス

当社は投資家や運用会社などお客さまのパートナーとして、資産運用や資産保全を支える幅広い資産管理サービスを国内・海外一体で提供してきました。今後とも投資対象や投資手法の高度化に伴い多様化するお客さまのニーズに応えるべく、これまで培ってきた資産管理サービスの強化に加え、IT・デジタル基盤を活用したレポートニングサービスやミドル・バック業務のアウトソース受任サービスなど、各種ソリューションの拡充を推進していきます。

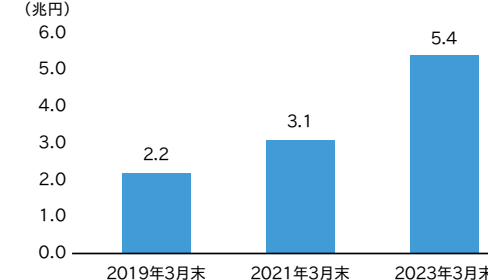


■ 三井住友信託銀行受託先のDC加入者数と投信選択率



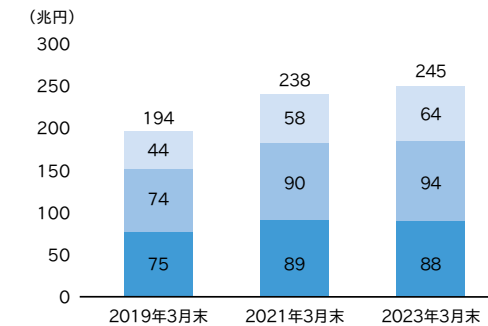
※1 (出所)「確定拠出年金統計資料」(運営管理機関連絡協議会より公表)

■ プライベートアセット^{※2} AUM



※2 プライベートアセット: プライベートエクイティ (PE)、不動産、インフラ、クレジットなどを中心としたアセット

■ 資産管理残高^{※3}



※3 海外資産管理残高はカストディ・ファンドアDMIの合計
各年度3月末時点の為替レートを使用